

Y. M. 社会システム学科 3 年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

留学を考えていたのは高校生の頃からです。ただ、その時は漠然と留学に行きたいと考えていただけで、韓国に行くことまでは考えていませんでした。大学に入学した時期がちょうど新型コロナウイルス感染症が流行し始めた頃で留学も諦めていましたが、不要不急の外出を控える期間中に韓国のアイドルやドラマにハマったこともあり、ソウル女子大学の夏季オンライン短期・集中韓国語コースに参加して初めて韓国語を学び始めました。2年間連続で参加したのですが、そこで友達ができたと、韓国語能力が伸びていくことが楽しかったこと、新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきて留学に行く友達が増えたことなどがあり、留学を再び考え始めました。オンライン留学が終わってからも独学で韓国語を勉強する時間を設けたりはしていましたが、留学のためではなかったのも、たまに時間をとって勉強するくらいでした。本格的に考え始めたのは3年次の8月、9月ごろだったような気がします。キャンパス内で留学生募集のポスターを見て、とりあえず話を聞いてみよう、とても緊張しながら国際課に行ったことを覚えています。そこで協定大学留学制度についての冊子を受け取り、色々調べ始めました。全く計画なく、急に決めたことだったので、オンライン留学参加後に TOPIK を受験していてよかったと思ったことを覚えています。

② 留学を目指してから出願までの韓国語学習方法

夏休み中に本学の協定大学であるソウル女子大のオンライン留学で韓国語を学びました。ハングルの読み方や書き方などの初歩的な内容から始めて、2年目には簡単な文章を作ることができるくらいになっていたと思います。オンライン留学では延世（ヨンセ）大学語学堂のテキストを使っていました。独学で使った教材は、主に YouTube やドラマが多かったです。第2外国語に韓国語を選択していたわけでもなかったのも、しっかり授業で学んだのはオンライン留学中の授業だけですが、ドラマやアイドルのコンテンツをたくさん見ていたので意外と語彙と簡単なフレーズ（会話でよく聞くもの）は覚えていたのではないかと思います。ハングルが読めるようになった後は韓国語の歌の歌詞を見ながら歌を聞いたり、口ずさんだりすることが「読み」が速くなる方法なのではないかと思いました。好きな曲のラップパートが歌える様になったりして楽しく、それを通して読むのが速くなったと自分でも感じました。留学のための資格は、もともとオンライン留学の後に TOPIK 試験を力試しで受験して4級を取得していたので、留学が決定する前にはそこまで勉強はしていませんでした。インターネットで検索したら、すぐに出てくる教材を使って勉強をし、作文の能力は全くなかったのも点数を取るコツ（接続詞や文章の構成など）をひたすら頭に叩き込んで受験しましたが、意外と点数は取れました。TOPIK 公式サイトで過去問を無料で閲覧が可能

なので、それも利用していました。回答をしっかりと読んでその回答を写して頭に入れていたと思います。

③ 留学決定から出発までの準備期間

語学の勉強はほぼしていませんでした。ドラマやアイドルのコンテンツを見たりするくらいです。ただ、入寮後にクラス分けのテストがあるので、出国が近づいてきた頃に文法と単語などは確認した記憶があります。テストの結果も、自分の持っている TOPIK の級と同じクラスだったので、テスト前に頑張りすぎたら本来の能力よりも上の級になって負担になるかもしれません。ビザの申請は、住民票を実家の住所から移動していなかったため冬休み中の帰省の際に申請しました。地域ごとに異なるようですが、私の地域（札幌）では申請は直接、在札幌大韓民国総領事館に行く必要がありましたが、発行はオンライン上だったのでコンビニエンスストアで印刷でき、とても便利でした。発行後に、また領事館に取りに行く必要がある地域もあるみたいなので、しっかり確認しておくと思います。その他の準備では、4年次生での留学で、帰国後にすぐに卒業して社会人になる予定だったので、一人暮らしをしていた家の解約をして、荷物を全部実家に持ち帰りました。あとは、スマートフォンの契約をどうするか相談をしに行ったり、1年くらい友達にも会えなくなるので、たくさん遊んだりして過ごしました。留学の荷物については飛行機に預けることができる一番大きなサイズのスーツケース一つで行ったのですが、普段から旅行の際に事前準備をするタイプではないので、出国の前日にスーツケースを閉じた記憶があります。

④ 現地到着後

SIM を空港受け取りにしていたので、受け取ってとりあえずスマートフォンを使えるようにすることを最優先にしていました。今は eSIM (Embedded-SIM) もあるのでそっちの方が楽だと思います。私はとりあえず 30 日間のものを購入しました。色々すれ違いがあって入寮日に指定されていた時間に行くことが難しかったので初日は弘大（ホンデ）のホテルに泊まりました。入寮当日は指定日より 1 日遅れていたため全く人がおらず、また入寮予定の時刻等も伝えていたのですが、担当者が全くいなくて困りました。仲良くなった友達に聞いたら、指定されていた当日に行っても人がいなかったみたいなのでその辺はちょっと雑だなと思います。警備室に連絡して開けてもらい部屋に入りました。日本語ができる担当の方もいたので意思疎通に問題は特になかったです。オリエンテーションは入寮してから 2、3 日後にあって、外国人登録証の申請書の作成をしました。この時に X 線検査ができる病院を教えてもらって行きました。学校から徒歩で行ける場所で、留学生がよく来ているようなので特に韓国語ができなくてもすぐにわかってもらえると思います。銀行口座は携帯電話の契約に必要なだったので、とりあえず口座だけを作ってもらい、携帯電話の契約をしてから後日、電話番号の登録やチェックカード兼学生証を作りに行きました。銀行が一番苦労したので、しっかり手続きの内容とそれに合ったフレーズや単語を調べていくといいと思います。

ます。私の場合は、携帯電話の契約をするために銀行口座が必要だったのですが、口座を作るのに電話番号が必要と言われて、ややこしくなっていました。結果、事前に登録していた SIM が電話番号付きのものだったので、一旦それで口座を作ってもらい、後日に電話番号を変更しました。職員の方はとても優しく最後までちゃんと聞いてくれるので、落ち込まずにちゃんと伝えようとするのが大事です！銀行は大学内にあります。携帯電話は日本から持っていったスマートフォンを使い、現地で eSIM を契約する形にしました。新村（シンチョン）にある「JK モバイル」というところで契約しました。月 7GB まで、通話・SMS 無制限のプランで月 2 千円くらいでした。店員さんが日本人の方もいるし、韓国人の方も日本人並みに日本語が上手で安心です。

⑤語学研修期間

受けていません。長期休暇中に語学堂の授業を受講することもできますが、割引があっても高く、語学堂の先生から「高額で、1 年しかないから休みくらい韓国を満喫してきて」と言っていたので私の周りで受講している子はあまりいなかったです。

⑥正規科目履修期間

◆大学の施設・環境について

同志社女子大学（京田辺キャンパス）と特に変わりはないです。規模が少し大きくて自然が多いことと、男女問わず人が自由に出入りできる場所には驚きました。学内への出入りが比較的自由なので、休日に家族連れがいたり、老夫婦が散歩していたりと公園のような空間になっていました。個人的には図書館にとってもお世話になりました。24 時間（夜 11:50~翌朝 5:00 までは出入り不可）開いていて、カフェや睡眠スペースもあったのでテスト期間中は、ほぼ毎日利用していました。徹夜している学生もよく見かけました。

◆履修科目

卒業のために「卒業研究」に対応する授業をメインで履修していました。私は社会システム学科の多文化共生コースだったので、関係しそうな授業がメインです。

◆授業、レポート、定期試験

・「中東アジア地域研究」

科目名通り、中東アジアの地理や政治、宗教や歴史を学ぶ授業です。先生がとても面白い人で授業も楽しかったし、とても気を遣っていただいてテスト、レポート、プレゼン全部ありました。一番楽しかったかもしれないです。

・小テスト（中東アジアの国名と首都を白地図に書く）

・レポート（各自でテーマを決めて書く、A4 用紙 10 枚程度、学期が終わってから 1 週間以内に提出）

・プレゼン（レポートの内容（全部書き終わってなくても大丈夫！）を説明する）

・期末テスト（授業内容の確認、オープニングブック）

・「**Western and Eastern Culture in Korea**」

全て英語で行う授業です。主に韓国と西洋の文化の比較をする授業でした。韓国語と比べて英語の授業の方が出来ると思って受講しましたが、韓国人の英語能力の高さに驚いて結構きつかったです。でも、先生も受講している学生もみんな良い人たちだったので、英語を頑張る気持ちさえあれば大丈夫です。

・毎回 2~3 人でディスカッション

・英語圏から来ている留学生や帰国子女が多め（8,9 割の子がネイティブレベルにペラペラで心が折れました）

・プレゼン動画（5 分くらいのもの、各自テーマを決めて作る）

・中間テスト（あらかじめ決まっているテーマでディスカッション、オープンブック）

・期末テスト（先生と 1 対 1 であらかじめ決まったテーマでディスカッション、オープンブック）

・「**社会福祉と文化多様性**」

留学中一番きつかった授業です。グループワークが中心で、講義の後にグループで決まったテーマについてプレゼンやレポートの準備を行います。韓国に来て初めてのグループワークで語学の面でも不足していたので申し訳なかったし、なんとなく疎外感がありました。

・テストなし

・グループワーク（決まったテーマについて中間、期末に 1 回ずつプレゼンとレポート提出）

・「**中国近現代史**」

中国の歴史の授業です。歴史の授業なので、頑張って調べたら日本語でも出てきます！テストがオープンブックではなく、全部覚える必要があるのが大変ですが、勉強すればなんとかなります。ちなみに私は中間テストが全くできなくて謝罪文を回答用紙に書きました。

・課題（中国の地域を白地図に書いて提出）

・中間テスト（授業内容の確認、選択問題と記述問題）

・期末テスト（中間テストと同じ）

・「**日本社会と言語**」

文法的な日本語ではなく、その「場」にあった日本語は何か、を学ぶ授業です。今まで考えたことのなかった観点から日本語を見ることができるので楽しかったです。

・中間テスト（授業内容の復習、記述あり、日本語で解答可）

・期末テスト（中間テストと同じ）

・グループワーク（期末にプレゼン）

・「**韓日比較文化**」

韓国の文化との比較をする授業でしたが、序盤は日本の文化紹介が多かったように感じま

す。既に知っている事でも韓国人の受け取り方が日本とは違うということがわかって面白かったです。先生が日本への留学経験があり、日本の大学で教授として働いていたこともある方なので、とても日本語が上手です。

・課題（たまに授業の内容や、次回の授業内容への意見をマナビーの掲示板のようなところに提出）

・中間テスト（オープンブック、4つくらいの設問に自分の意見を記述する形式）

・期末テスト（中間テストと同じ）

・プレゼン（決められたテーマについて文化紹介のプレゼン、一人でする人もいるし、2人以上でする人もいて、プレゼン時間は全体で10分くらい）

・「多文化教育の理解」

元々は英語講義の授業でしたが、今学期から韓国語での開講でした。7人くらいしか受講してなくて、かえって話しやすかったです。教育心理学科の授業で、毎回ディスカッションがあります。

・テスト（中間に授業の内容復習が1回）

・グループワーク（全部で3回のプレゼンと簡単なレポート提出）

・「韓国語 会話と聞き取り(4,5)」

・「韓国語 作文と読解(4,5)」

どちらも外国人留学生だけが受講する授業です。語学堂留学の学生とクラスが分かれていましたが、語学堂の授業です。初めのレベルテストで分けられた級からスタートして、そこから学期ごとに1級ずつ上がるので6級の授業を受けたい場合は、レベルテストで5級以上になるか、夏休みに語学堂の授業をとってそこで5級を受講するかの2択になります。

・中間テスト（中間テスト期間までの内容のテスト4技能）

・期末テスト（中間から期末までの内容がメインのテスト4技能）

・作文課題（全4回）

・小テスト（単語や文法、リスニングのテスト（というよりも課題に近い））

・動画提出（一人で行うものとペアで行うのもの）

⑦クラブ、課外活動、ボランティア活動

特にしていませんでした。

⑧現地での住まい

国際生活館というキャンパス内にある寮で過ごしました。隣にある寮（長期期間中に住む寮）と比べて見た目がボロっとしているので不安でしたが、1年の滞在！！と割り切って生活することができました。慣れてしまえば取り立てて問題はなかったです。基本的に外国人が住んでいる寮なので、各学生の韓国語のレベルも様々でした。張り紙を読んでいないのか、紙流せるのにゴミ箱に捨てる等、トイレが汚いことが多かったです。寮の食事は40食分を各

学期強制的に購入させられるのですが、美味しいわけでもなく、かといって食べられないほどでもなく、という感じでした。現地の学生も美味しくないとっていたので、一般的に美味しくはない部類だと思います。キャンパス内にある寮だったので通学時間はありません。一番遠い建物の授業でも 10 分前に出て、走れば間に合うくらいです。とても便利でした。

⑨長期休暇の過ごし方

卒業論文を書いたり、ドラマやアニメを見たりと基本的に寮にいましたが、たまに友達と遊びに行きました。また、家族が遊びにきたりもしました。図書館や食堂も閉館時間が短くなっていましたが、開いていたので大学の外に出ることがほぼなかったです。

⑩留学期間中の就職活動の取り組み

留学に行くことが決まる前から、同志社女子大学のキャリア支援室に通っていたこともあり、自己 PR や志望動機などが完成していたのが精神的な安心に繋がっていたと感じています。3 年次の自分にとっても感謝しました。新型コロナウイルス感染症が流行っていた時期ということもあり、オンラインで選考を行う会社が多かったことが幸いして、特に問題なく就職活動に取り組むことができました。ひたすらオンラインで開催している会社説明会に参加して、選考過程が全てオンラインで行われる会社を探しました。1 学期の間は、ほぼ毎日午前中は説明会を聞いて、選考に参加していたような気がします。どうしても受けたかった会社の最終面接が対面での実施で、企業の方も日程を調整してくださり、2 泊ほど日本に一時帰国しました。就職活動もそうですが、留学が始まってからちょうど辛かった時期でもあったので良いリフレッシュになったと思っています。留学中で周りの状況も解らず、とても不安でしたが、逆に周りを見て焦ることもなく志望していた会社に内定をいただくことができましたので納得のいく就職活動ができました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

楽しかったことはたくさんありますが、特に楽しかったのは好きなアイドルのコンサートに行くことができたことです。韓国ではチケットが先着順なので、友達とネットカフェに行って、最前席を勝ち取りました。その時も楽しかったし、コンサートは言うまでもなく最高でした。絶対忘れないです。留学中で涙が出るほど嬉しかったのは TOPIK6 級を取得できたことです。語学能力向上のために留学に行ったわけではないので、そこに重点を置いていなかったのですが、一つの目標としていたことだったことと、受験したのが 11 月で留学の終盤だったので、自分が 1 年間やってきたことが全部結果として見えた気がして、とても嬉しかったです。なんとなくですが、日本で勉強して 6 級を取得することと、留学して取得することは感じ方が全く違ったのではないかと思います。オンライン留学の時にハングルの読み方から教えてくださった先生がソウル女子大学にいらっしゃったので、報告

して一緒に喜んでくれて、お祝いしていただきました。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

辛かったことも色々ありますが、ホームシックとかはありませんでした。もともと大学進学に合わせて一人暮らしをしていたこともあり、家族に会えない寂しさ等は全くなかったです。基本的に2人部屋、長期休み中は選択で2人部屋か4人部屋で、一人になることがなかなかできなかったのも、自分の時間の作り方は考えないといけないなと思います。私の場合は、韓国人の先輩と同室でした。仲が悪いとかは全くなくて、むしろとても良くしてくれました。先輩はテスト期間以外の週末は実家に帰っていたので、良い息抜きになっていました。やっぱり言語の壁はあるし、その中で韓国人の学生との授業でチームプロジェクトをすると、日本以上に成績を重視している国でもあるので、申し訳なさもあったし、もしかしたら私は省かれているかもしれないと感じることもあって精神的に参ることもありました。そこはしょうがないなと割り切って、自分にできることを頑張るしかないなと痛感しました。あとプロジェクトメンバーによっても雰囲気も全く違ったので、こればかりは運でした。

③文化・習慣の違いなどで驚いたこと

もともとドラマなどをよく見ていたので大きなショックはなかったです。「ドラマでよく見ているやつだ」と新鮮でした。強いていうなら、日本と比べて学校に化粧をしてきている人がほぼおらず、みんなサンダル（クロックスや、つっかけみたいなもの）を履いていることくらいです。本当に勉強をしにきているという感じで、テスト期間は図書館が人だらけで、図書館に泊まる人も少なくないです。あとは、休学している人が本当に多いです。私は4年次生での留学でしたが、98年生まれの先輩が普通にいました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

①留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点

- ・田舎なので勉強に集中しやすかった。
- ・女子大なのでグループワークやペアワークのやりづらさがあまりない気がする。
- ・基本的に生活に必要なことが全部学内で完結する。
- ・銀行、食堂・カフェ、コンビニエンスストアがあった。
- ・自然がいっぱいなので散歩などの気分転換がしやすい

悪かった点

- ・2学期から評価方式が相対評価に変わったこと。
- ・田舎すぎて遊びに行くのが大変。基本的にどこに行くのにも1時間はかかる。
- ・学内にエレベーターが少ない。授業前は混雑するのでギリギリにいくと5,6階まで階段で

駆け上がったりする時もあった。

・困ることはなかったが、すごく綺麗な学校というわけではない。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは日本で使っていたもの（MacBook）を持って行きました。レポートの提出がある授業もあるので、ほぼ必須だと思います。キーボードは日本語のもので、韓国語のシールなども貼っていませんが慣れです！レポート書いたら、慣れてそれなりのスピードで打てるようになりました。それ以外で特に持ってきて良かったと感じているものはないです。正直、全部韓国で買えます。強いていうなら日焼け止めくらいかなと思います。韓国でも買えますが、日本にあるような全身用の大きいものがあまりないです。長期休暇の時は必ず引っ越さなくてはならないので、あまり荷物を増やさない方が引越しの時の楽だし、帰国の時にも楽だと思います。友達は私の三倍くらい荷物があって手伝うのも大変でした。役に立ったというよりは、気をつけた方がいいことのような気もしますが、クレジットカードについてです。私は、基本的にクレジットカードで生活をしていたのですが、なぜかセゾンのカード（国際ブランドはVISA）が使えないコンビニエンスストアやお店がありました。いまだにどうしてなのか、よく分かっていませんが、そのカードが使えないコンビニエンスストアも、Apple Pay での支払いはそのカードでできました。三井住友系のカードは使えないことがなかった気がするので、クレジットカードの発行会社によって違うのかなと思います。カードのブランドだけではなくて、発行会社も気にした方が良いかもしれません。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

語学力は確実に伸びたと感じています。留学当初はお店に入るのにも緊張していましたが、今ではなんとかなるだろうというマインドに変わったし、確実に聞き取りの能力が伸びました。もともと TOPIK4 級を取得していて、ある程度はできると思って留学しましたが、実際に使うことと勉強で入れた知識とは全く別物だと初日から痛感しました。特にソウルの方は話すのがとても早いので、初めて聞いた時にはもう「？」しか浮かばなくて冷や汗をかきました。私はやっぱり外国人で、友達は多少ゆっくり話してくれたりはするけど、ほぼ聞き取れる様になり、店員さんなど、私が外国人であると知らない人に話しかけられても、ある程度の雑談も交えて話せる様になったので、振り返ると成長したなと思います。あとは、TOPIK の対策をメインでしていたわけではないけれど受験した時にリスニングがびっくりするくらいゆっくり聞こえたり、最後まで解くことを諦めていたリーディングの問題が最後まで解いて確認までできたりしたので、やることやっていたらちゃんと身につくのだと感じました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

私は 4 年次生で休学せずに留学をして、少しイレギュラーだったので就職活動や卒業論文など、留学に思いっきり集中することが少し難しかったです。それでも留学して良かった

と感じています。その時は必死で、そんな呑気なこと言っていられないし、言わないで！と
思っていたのですが、最終的にはなんとかかなると心のどこかでは思っていました。実際、なん
とかなったし、今思えば、ありきたりの言葉だけれど本当に貴重な経験をしたと思っていま
す。帰国してから2ヶ月ほど経ちますが、今でも留学中に仲良かった子とは交流もあるし、
1月にはうちに泊まりにきました。留学に限らず、学生のうちにやりたいと思っていること
をやる環境があるのなら、ぜひやってみて欲しいと思います！！あと、少し現実的な話を
しておく貯金は大切です！留学していた1年間、アルバイトができないので、奨学金に
とても助けられていました。レートがとても悪くなって後半どんどん辛くなりました。私み
たいにふと思立って留学をする人もいるかもしれないし、留学に限らず就職ややりたい
ことをするためにも、お金はしっかり貯金しておいた方がいいです。レートもいつどのくら
い悪くなるか全く読めません。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

このまま順調にいけば3月に卒業して、就職する予定です。留学で得た語学能力が直接活
かせる仕事ではないですが、留学を通して得た経験は何かしらの形で活かすことができる
のではないかなと思っています。将来の目標は大きなものではないですが、留学という経験
を通して得たもの（語学力だけでなく、人間性的なもの）がとても大きかったと思うので、
まだ全く調べてもない状況ですが、ワーキングホリデーなどを通してまた海外に長期滞
在することができたら良いなと思っています。韓国ではなく、別の国に行ってみるのもあり
だと思っています。

V. 写真



人生初の済州島（チェジュトウ）旅行の時の写真です。

ルームメイトの子と2泊3日で行きました。

9月は休日が多かったので、授業が終わってから夜の便で行
きました。島到着後、すぐに空港で撮ったものです



学園祭の時の写真です

小さすぎてわかりにくいけれど、元 IZ*ONE (アイズワン) のチェ・イエナがきました。良い席で見れなかったけれど、とても可愛かったです



留学中に一番食べた韓国料理のコプチャンです。今も写真を見て食べたくなりました。

辛い食べ物が大丈夫で、ホルモンが苦手であれば、ぜひ食べて欲しい一品です。



中東アジア地域研究の授業で仲良くなった子と遊んだ時の写真です

韓国に行って一番初めにできたソウル女子大の友達です！この時はソウルにある聖水（ソンス）の有名なレストランとカフェに行きました